



# NEWS LETTER

2020 SPRING

- FIWC九州 -



# — Contents —

---

1, FIWC とは

2, 委員長挨拶

3, ワークキャンプ

海外 (フィリピン、チャイナ、インドネシア、ネパール)

国内 (耶馬溪、福智町、敬愛園訪問)

4, 後期のイベント

5, 役員紹介

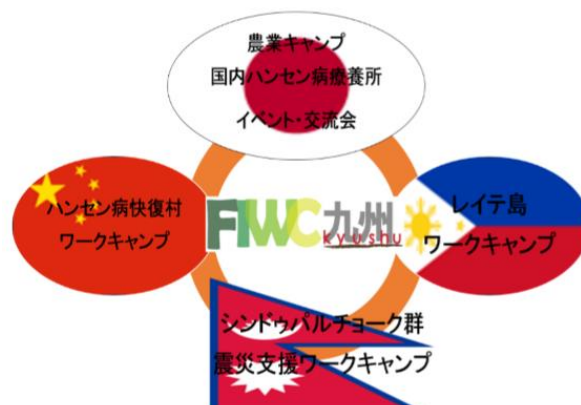
---



## 1,FIWC とは

FIWC とは、フレンズ国際ワークキャンプ (Friends International Work Camp) の略称である。第二次世界大戦後復興のため、アメリカ・フレンズ奉仕団 (AFSC) がワークキャンプを日本で実施した。そして、1950 年代に AFSC から独立し、FIWC が結成された。私たちの FIWC の「フレンズ」はその精神を受け継ごうという意思から採用された。それ以来

FIWC は、国内外でワークキャンプを 60 年以上実施している。現在その支部は全国に広がり、FIWC 関東委員会、東海委員会、九州委員会が活動している。私たち九州委員会は九州（主に福岡）の大学生が主体となり、学生のみで運営・活動をしており、国外ではフィリピン、中国、ネパール、国内では耶馬溪の農業キャンプ、福智町キャンプ、国立ハンセン病療養所訪問などを中心に活動してきている。私たち FIWC は、一般市民・学生による任意の非政府組織 (NGO) であり、いかなる政治・宗教団体とも一切関係のない学生団体である。



## 2,委員長挨拶

今年度、FIWC 九州の委員長を務めさせていただきます、九州大学 4 年の柴田真人です。私たちは主に国際協力をワークキャンプといった形式で行っております。ワークキャンプとは、現地の方々と共に生活をし、交流を重ねながら、ワークを行なっていくといった活動です。私たち役員はその海外活動を安全に行えるようなサポートをしたり、そのほかにも国内での楽しいイベントの運営をしていきます。

私自身、FI で過ごしてきた過去三年間に多くの経験と学びを得ることができました。それも、人と人のつながりが生まれてこそのものであったと思います。だからこそ、FI の活動に参加してくれるみなさんとのつながりを大事にし、みんなにとって居心地の良い居場所を作っていきたいと考えています。

近況では、コロナウイルスのために思うような活動ができない非常事態になっていますが、新役員全員で一丸となって今できることを精一杯頑張っていきますので、これから一年間よろしくお願いします！

## 3, ワークキャンプ

### ～海外編～

2020年春海外ワークキャンプでは、チャイナ、フィリピン、インドネシアが行く予定でしたが、新型コロナウイルスの影響により、断腸の思いで中止することを決定しました。今回のニュースレターでは、春キャンプに行く予定だった内容やワークを紹介します！また、これから活動予定のネパールキャンプも紹介します！

### フィリピンキャンプ



#### ○概要

期間：2/24～3/23

場所：フィリピン共和国レイテ島タバンゴ市トゥーガス村

キャンパー：21名

目的：農村部の行政支援が行き届いていない地域でインフラ整備を行うことにより、村や市から行政支援を引き出すきっかけになり、村人の生活水準の向上だけでなく村人の問題意識と改善意欲の向上を図ることで、村の自立促進を目的としている。

#### ○キャンプテーマ 「導」

パイプ、水滴、道、♡マークで文字を作り、村の人々と一緒にワーク・生活を行うこの活動が村の人々にとっても私達にとっても素敵な未来へと導くきっかけになって欲しいという願いを込めてこのテーマにした。

#### ○キャンプ内容

水道設備の作製と道路の整備

#### ○キャンプ総括

残念ながら今回は、新型コロナウイルスの影響で渡航できずワークは延期という形になりました。しかし、ミーティングの中でメンバー全員とフィリピンの村・人々のことを1人ひとりが考え、模索した時間は、かけがいのないものだと言うことは変わりないと思います。支えて下さった皆様本当にありがとうございました。また、今回達成できなかったワークは来年の春に実行する予定なので引き続き応援よろしくお願い致します。

(フィリピンキャンプリーダー 日隈実奈美)





## チャイナキャンプ



○概要 期間：2/6-2/19  
 場所：中華人民共和国広東省広州市  
 参加人数：6名



### ○キャンプテーマ「和~kiseki~」

「和」という字は、日本を象徴する言葉である上に、「和む」、「平和」などチャイナキャンプの色である人の温かさを伝える意味を持ちます。また、「和」は、中国語では「and」という意味の接続詞の役割を持つため、このキャンプと関わる人（村人、キャンパー、JIAのメンバーなど）とのつながりを大切にしたいという思いが込められています。

「kiseki」には、日本人、中国人キャンパー、村人たちとの出会いに対する「奇跡」と今まで先輩たちや村人たちが積み重ねたものを繋げていく「軌跡」との二重の意味を含み、あえてローマ字表記にすることで、中国と日本を結ぶグローバルキャンプであることを表しています。

### ○キャンプ内容

- ・【2/8-15】テンチャオ村ワークキャンプ  
 (村人との交流を楽しむイベント、新しいごみ処理場の設置、健康セミナーなど。)
- ・【2/16-17】ガオミン村ビジットキャンプ (ホームビジット中心のキャンプ)



### ○ビデオレタープロジェクト

オールドキャンパーや現キャンパーの「我爱你(愛してる)」と言っている自撮りの動画を集めて、送り、村人に笑顔になってほしいという思いを込めたプロジェクトです。ビデオの最後には、村人たちに楽しんでほしいという気持ちを込めて、キャンプ中に踊る予定だった「パプリカ」を今回のキャンパーで浴衣を着て踊りました。コロナウイルスが終息次第、JIAのメンバーや次のキャンプに行く人たちにこの動画を各村に届けてもらう予定です。

### ○キャンプ総括

今回のキャンプは中止になってしまい、キャンプに行けない中、みんなで何かできないか話し合いを重ね、ビデオプロジェクトをすることになりました。最後まで、みんなが納得できる答えを出すまで話し合いを続けることができていたと思います。新キャンパーやオールドキャンパーのキャンプに対する感じ方、考え方の違いを改めて知りました。キャンプ中にMTG中や、MTG以外でもメンバーには助けられることが多く、このメンバーと出会えたことに感謝しています。



(チャイナキャンプリーダー 北村 真海)

## インドネシアキャンプ



### ○概要

期間：2/26～3/14

場所：インドネシアジャワ島

スラウェシ島のハンセン病快復コロニー

キャンパー：13名



目的：2019年夏に FIWC 東海委員会と合同でインドネシアキャンプを行い、「九州委員会でもインドネシアキャンプを行い、夏に訪れた村のような、笑顔で溢れる村を一つでも増やしたい」という FIWC 九州の想いと、「新たな島や村にあるコロニーを開拓したい」という、夏にもお世話になった現地団体「JALAN」の想いが一致し、今回の FIWC 九州インドネシアキャンプが発足しました。今回は Research camp ということで、今後 FIWC 九州がキャンプを行っていくキャンプ地を決める予定でした。

### ○キャンプテーマ 「咲」

「咲」という字には昔「笑」という意味がありました。このキャンプを通して、村の方々やキャンパーにたくさんの笑顔の花が咲いてほしい。そして、村の方々とキャンパーの出会いによって咲いた笑顔がみんなに伝染して、お互いが夢を与える存在になることを願ってこのテーマにしました。

### ○キャンプ内容

ドノロジョ村訪問（2019年夏に訪れた村）

3つの村（ウィレスカット村、ラリング村、トティンチョ村）の下見。ホームビジット等

### ○キャンプ総括

現地に行くことはできませんでしたが、素敵なキャンパーと出会い、みんなで一生懸命つくりあげてきたインネシキャンプに悔いはありません！インドネシアの村の方々に会いたい気持ちは山々ですが、会いに行くチャンスはいくらでもあると思っています。またインネシキャンプに魅了された方がキャンプを発足することを願っています。キャンパー全員で報告書もつくりあげましたので、どうぞご覧ください！



キャンプの実施を考えるにあたって、多くの方にご協力いただきました。この場を借りてお礼を申し上げます。ありがとうございました。

（インドネシアキャンプリーダー 久保山亜美）





これから活動予定のキャンプです！

## ネパールキャンプ



○場所：

ネパール連邦民主主義共和国

シンドゥバルチョーク群グマンマニサワラ村

ネパール連邦民主主義共和国

カブレ、パンチュカル、アネコト、マンガルダラ 13



○概要：

グマンマニサワラ村では、2015年の大震災で崩壊した、グンバの事故アセスメント、ニーズ調査などを行ないました。

アネコト村では水道設備や学校への文房具寄付などを行う予定でした。

コロナで今後どうなるかわかりませんが、村で調査をして、ニーズに沿ったワークをできるようにします。

今まで、夏キャンプは下見キャンプとして、春に行う本キャンプのために村の調査、村人のニーズ調査、村人と仲良くなるためのイベントを主に行ってきました。

春キャンプは本キャンプとして様々なワークやイベントを行いました。

ネパールキャンプができた経緯：

2015年にネパールで大きな地震があり、その復興支援として FIWC 九州でボランティアワークを行うことになりました。今までは水道設備、村の公共施設の建築などのワークを行ってきました。

○次のキャンプ：

またニーズ調査を行って、学生の私たちに出来るボランティアワークを行う予定です。



○総括

今のコロナで大変な時期に、現地のネパールには行けませんが、日本でネパールの人のために考えることはできます。いま、私たち一人一人が自分にできることを考え、行動するべきだと思います。コロナが収まったら、ネパールの人たちのためにボランティアワークができるよう、話し合っていきます。(ネパールキャンプリーダー 福田菜々子)

～国内編～



## (1) 耶馬溪キャンプ



### ○概要

私たちは、基本的に4月末、6月中旬、10月中旬の年3回耶馬溪キャンプを行っています。大分県の耶馬溪にあるFIWC 関西のOBである鈴木さんの自宅にお邪魔し、近所の住民の方々と一緒に農業ワークの体験をさせていただいています。参加するみなさんが、一泊二日のキャンプを通して耶馬溪の方々と関われるだけでなく、食や農業について考えるきっかけになってほしいと考えています。



### ○今年のテーマ

「耶馬溪と私たち」

ワークを行うみなさんが、このキャンプを通して耶馬溪の方々と交流し、"何か"を感じ、考え、私たちから耶馬溪を発信していく、そんなキャンプにしたいという思いを込め、今年はこのテーマを掲げました。



### ○係から一言

耶馬溪キャンプは農業ワークだけでなく、面白い人がたくさんいる FIWC 九州メンバーとの行き帰りのドライブや耶馬溪の方々との BBQ 等、楽しみがたくさんあったキャンプです！

参加してくださる方全員に楽しんでいただけるように、私たちも全力でキャンプに向け準備をします。

少しでも、興味がある方は是非お越しください！！

大歓迎でお待ちしております♪ (文責：安武みなみ)





## (2)福智町キャンプ

「ワークキャンプ」は、海外でしかできないことではありません。FIWC九州では国内でもワークキャンプを行っています。キャンプ地は、福岡県田川郡に位置する「福智町」という人口2.3万人の町です。

前回のニュースレターでは、2019年4月に行ったイベント「福智の山菜取りツアー」と、2019年7月に行った、中高生を対象とした教育系ワークショップの活動報告をさせていただきました。

活動をさせていただく中で、福智町の方々とのコネクションも増え、もうすっかり第二の故郷となった福智町での私たちの最近の活動を報告します。

### ○古民家再生プロジェクト「yori-toko」

長い歴史のある古民家を、地域の方々の憩いの場、その名も「yori-toko」として再生するプロジェクトが行われています！

リノベーション中の、この古民家にて、FIWC九州の学生が漆喰塗りを体験させていただきました。

漆喰を塗る前に、漆喰とは何か、どんな効果があるのかという話を講義形式で教えていただきました。

そして、塗り方を教わり練習した後、古民家の二階部分の壁を白と緑の漆喰で塗っていききました。表面をきれいにしていくのは非常に難しかったですが、本当にたのしく、貴重な経験をさせていただきました！

漆喰塗りに没頭して疲れた後は、バーベキューもしました！食後には、古民家に置いてある蜂箱から採れた蜜蝋から、蜜蝋ハンドクリーム作りに挑戦し、記念に持って帰りました！

古民家完成後は、私たちFIWC九州は「yori-toko」を福智町での活動の拠点とさせていただきます。完成が楽しみです！



「yori-toko」の詳細について、今回のワークショップで協力していただいた元地域おこし協力隊で、現在は不動産屋を営んでいらっしゃる手島順也さんが書かれた記事はこちらのQRコードからぜひ見てみてください！

また、筑豊版西日本新聞や、NHK ニュースで取り上げていただいた内容を、福智的キャンプのインスタグラムのストーリーズハイライトでご覧になれます。



2020年4月に予定していたワークショップなどは、コロナウイルスの影響で中止となってしまいました。コロナウイルスの影響が終息したらすぐに福智町に行きたいです…(笑) (文責：北川真衣)



### (3)敬愛園訪問

#### ○概要

日程：1月25～26日

場所：鹿児島県星塚敬愛園



#### 敬愛園とは？

全国に13か所ある国立ハンセン病療養所の一つで、外部との交流も盛んで、毎年園内外からお客様が来る夏祭りや、園内外のチームが参加するゲートボール大会などを行っています。



今回は14人で小牧じいちゃんに会いに行きました！1日目は、みんなでおしゃべりしたあとに、お鍋パーティーをしました！2日目は、小牧じいちゃんのお部屋に行ってお話を聞いたり、小牧じいちゃんの歌を聞いたりしました。(とても上手です🌸)小牧じいちゃんは、自分がハンセン病感染者となってから、自分が差別をなくすためにしてきたこと、これからしたいことなどを伝えてくれました。改めてハンセン病について考えることができました。今年の9月には卒寿祝いをする予定です！また元気な小牧じいちゃんに会えるのを楽しみにしています！

(文責：久保山亜美)





## 4, FIWC 九州 昨年度後期の活動まとめ

### FI 大運動会 (11/16~17)

大分県の九重共同研究所で行われました。  
終始笑いの絶えない最高の運動会でした！



### FIWC サロン(12/7)

山口県の学生団体「WSK(World Shows and Knows)」さんが来てくれました！



### 年末キャンプ(12/27~30)

他の委員会や団体と交流ができ、濃い  
4日間を過ごすことができました🍁



### 追いコン(1/15)

卒業される先輩方に写真とメッセージの  
入ったアルバムをプレゼントしました♡



### 国内合宿(1/18)

各キャンプ・役員の振り返りや、  
新役員選出を行いました！



今年もたくさんの参加  
お待ちしております！



## 5, 役員紹介



### 委員長：しばた〜

こんにちは！委員長になりました。しばた〜です！FIは4年目で、今まで経験してきたことを糧に、みんなの活動がより良いものになるように仕組みを整えたりなど頑張っていきたいと思います！今年はコロナウイルスもあり、思い通りに活動ができない難しい状況ですが、みんなと協力し合い、この危機を乗り越えていきたいなと思っています！  
よろしくお願いします

### 副委員長：ヒグマミナミ

周りをよく見てサポート頑張ります〜！  
1年間よろしくお願いします！



### 会計：ぼぼ

役員2年目！去年は自分のことばっかりだったので今年は視野を広くみんなをサポートできるように頑張ります🙏





### あみ

広報としてFIの魅力をより多くの方に伝えることができるように、情報をわかりやすく発信していきます😊  
よろしくお願いします🌸

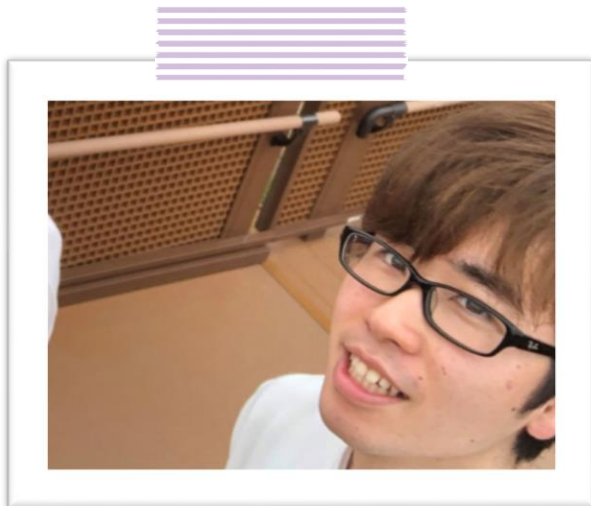
### しんちゃん

分からないことも多いですが自分にできることを精一杯やろうかなと思います。



### せいや

広報係になりました！せいやです。  
FIが身近に感じられるような出来事を  
どんどん発信していけたらなと思います！





### やすたけみなみ

念願の耶馬溪係になりました！大好きな耶馬溪、FIの魅力をたくさんの人の心に届けられるようにこの1年邁進します！

### ななこ

耶馬溪係としてみなさんが忘れられない耶馬溪キャンプを作りたいと思っています！よろしくお願いします😊😊



### じだん

耶馬溪係として、自分がやるべき事は何か、自分達に出来ることは何かなど、しっかり自分自身で考え、皆とのコミュニケーションを大事にしていきたいです。

今年も 1 年間 FIWC 九州を  
よろしくお願ひいたします！



---

「News Letter 2020-春-」  
発行日：2020年4月30日  
発行者：FIWC九州 広報係  
FIWC九州 SNS👉



お問い合わせ先：fiwcq@hotmail.com